

会 告

第 83 回講演大会講演募集案内

— 申込 (原稿同時提出) 締切り 昭和47年1月20日 (木) —

本会は第83回講演大会を昭和47年4月4日(火)、5日(水)、6日(木)の3日間武蔵工業大学(東京都世田谷区玉堤 1-28-1)において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和47年1月20日(木)までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

なお、本会では講演大会をより有意義にするため、講演概要集をオフセット印刷することによつて締切日を遅らせ、内容に最新のデータが盛り込まれる方式を実施してまいりました。しかし講演概要原稿が1枚に制限されているため、内容によつては不十分の場合もありましたので、さしあたり来春(第83回)の講演大会から止むを得ない場合は2枚までを認めることにいたしました。原稿執筆にあつては下記ご留意のうえご執筆下さるようお願い申し上げます。

講演ならびに申込要領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表。
(設備技術、IE などに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演時間 1 講演につき講演15分、討論5分
3. 講演前刷原稿
 - 1) 原稿は目的、成果、結論が理解しやすいよう簡潔にお書き下さい。
 - 2) 設備技術に関する原稿には計画にあつての基本方針、特色、成果等を必ず盛込んで下さい。
 - 3) 商品名等は原則としてご遠慮願います。
 - 4) 謝辞は省略して下さい。
 - 5) 原稿枚数は原則として所定のオフセット用原稿用紙(1600字詰)1枚とします。しかし内容的に止むを得ない場合は2枚までを認めます。(いずれも表、図、写真を含む)原稿が2枚にわたり執筆された場合には編集委員会で査読のうえ1枚にまとめなおし願うことがありますのであらかじめご了承下さい。
 - 6) 原稿は別添「講演概要原稿の書き方」をご覧のうえ、タイプ印書あるいは黒インクまたは墨を用い手書きとして下さい。
 - 7) 原稿用紙は別記(N 196 ページ)のように有償頒布いたしております。
8. 講演申込資格 講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
9. 講演申込制限 講演申込みは1人3件以内といたします。
10. 申込方法 本誌添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上、講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
11. 申込用紙の記載について
 - 1) 申込用紙は(A)、(B)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。
 - 2) プログラム編成上の参考といたしますので、「講演分類欄」に講演内容が、次ページ講演分類のいずれに該当するか、番号でご記入下さい。
 - 3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。
 - 4) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。
 - 5) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。
12. 申込みの受理 下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意下さい。
 - 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込
 - 2) 必要事項が記入されていない申込
 - 3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合

- 4) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込
5) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの

13. 申込締切日 昭和47年1月20日(木)17時着信まで
申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。

講演分類

製 鉄		製 鋼		加 工								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工		性 質										
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	IEその他術	その他

14. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
(社) 日 本 鉄 鋼 協 会 編 集 課

オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。

講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より20日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

1. 頒布料金1枚5円

(頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込)

5枚 60円, 20枚 165円, 40枚 400円
10枚 95円, 25枚 210円, 50枚 450円
15枚 130円, 30枚 245円

100枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。

2. 申込方法 ①オフセット用原稿用紙, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。

3. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課

湯川記念講演会開催のお知らせ

本会東海支部では下記により湯川記念講演会を開催致しますので多数ご聴講下さいますようご案内申し上げます。

記

日 時 昭和47年1月20日(木)13:30~15:30

場 所 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部講会議室

題目及び講師 “鉄鋼業より見た住宅産業と海洋開発”

新日本製鉄株式会社 監査役 堀 武 雄君

昭和47年秋季(第84回)講演大会討論会 討論講演募集のお知らせ

— 申込締切：昭和47年2月5日 —

昭和47年秋季(第84回)講演大会討論の討論講演を下記により募集いたしますので奮ってご応募下さるようご案内いたします。

記

1. 討論会テーマ

1. 高炉の羽口破損の機構について

座長 八塚 健夫

近年、高炉は大型化・高能率化し好成績を挙げていますが、その順調な操業に支障をきたすトラブルのひとつとして送風羽口破損の問題があります。この討論会では操業面や実験結果等から見た、その破損の機構に関する考察、およびそれに基づく破損防止対策などについて討論したいと考えますので、これらに関する討論講演を奮ってお申し込み下さい。

2. 溶鋼の真空脱ガス—操業と材質—

座長 渡辺 省三

副座長 浅野 鋼一

前回(第77回講演大会 昭和44年3月)では、溶鋼の減圧下における反応というテーマで、主として脱ガス機構を取りあげて討論会を開催しました。今回は各種真空脱ガス法の操業ならびに脱ガス処理を行った鋼材の材質および内部欠陥等について討論したいと思います。

奮ってお申し込み下さい。

3. 鋼の低温焼もどしによる炭化物の析出とその影響

座長 西山 善次

低温焼もどしによつて析出する炭化物の種類、物理的および結晶学的挙動、マルテンサイト組織との関連並びに鋼の性質におよぼす影響に焦点をしばつて討論いたしますから、奮ってご参加ください。

4. 鋼中の析出物および非金属介在物の態別定量

座長 成田 貴一

鋼中の析出物および非金属介在物の抽出分離定量法とそれに関連した基本的な問題について討論いたしますから、奮ってご応募下さい。

5. 熱間加工の温度、速度、加工度と組織

座長 中村 正久

つぎのような観点からの講演および準備討論(実験データ)を公募いたします。

1. 熱間加工試験における変形抵抗と変形能におよぼす表記の効果
2. 変形抵抗の温度・速度依存性と組織との関係
3. 上記依存性の各種金属、合金の特徴と共通性

6. 鉄鋼の格子欠陥—マルテンサイトと格子欠陥—

座長 橋口 隆吉

マルテンサイトの変態転位およびマルテンサイト変態の結果、形成される格子欠陥などについて討論する。鉄鋼のみならず非鉄合金のマルテンサイトも含む。

2. 申込締切日 昭和47年2月5日(土)

3. 申込方法 本誌綴込みの申込用紙(ブルー色)に必要事項ならびに申込書裏面に450字程度の講演の要約をお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出の要約により検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和47年5月8日(月)

討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第58年第8号(昭和48年7月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第58年第9号(8月号)に講演内容を掲載いたします。(従来より2カ月早くなっております)。

8. 討論質問の公募締切日 昭和47年9月中旬

前記第9号掲載の講演内容をご覧のうえ、質問対象講演を明記のうえ、本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先：100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)

会費納入についてのお願い

昭和 47 年分会費の納入期がまいりました。会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 21 月および 6 月の 2 回に分けて、おのおの 6 カ月分を前納していただくことになっておりますので、別送の振替用紙または現金書留にてお払込み下さいますようお願いいたします。

会員団体所属の会員にあつては幹事宛お支払い下さい。

記

正 会 員 年 会 費 3,000 円

学生会員年会費 1,500 円

外国会員年会費 3,600 円

宛先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

社団法人 日本鉄鋼協会 郵便振替口座 東京 193 番

第 8 回溶鉄溶滓の物性に関するシンポジウム(最終回)

開催のお知らせ

日本鉄鋼協会、日本金属学会、ならびに日本学術振興会の合同で運営されている鉄鋼基礎共同研究会では、昭和40年に溶鋼溶滓部会を組織し、現在までに5分科会が設置され、高温における溶融鉄合金およびスラグの混合熱、比熱、生成熱、粘性、密度、拡散係数、蒸気圧、表面張力などの物性値を測定してきました。当部会では一応の目的を達成しましたので本年度をもって解散することとなり、下記により各分科会の研究成果を中心に総合報告会を開催いたしますので奮つてご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日 時 昭和 47 年 1 月 29 日 (土) 9:30~16:00

場 所 本郷学士会館 6 号室 (東大赤門右隣, TEL 03-814 5541)

- 議題予定
- (1) 第 1 分科会総合報告 (主査 不破 祐)
(溶融金属の混合熱, 比熱, 生成熱の測定研究)
 - (2) 第 2 分科会総合報告 (主査 足立 彰)
(溶融金属およびスラグの密度および粘性の測定研究)
 - (3) 第 3 分科会総合報告 (主査 井上道雄)
(溶鉄中への酸素, 窒素, 炭素の拡散係数の測定研究)
 - (4) 第 4 分科会総合報告 (主査 丹羽貴知蔵)
(溶滓および溶鋼と共存する溶滓の蒸気圧の測定研究)
 - (5) 第 5 分科会総合報告 (主査 川合保治)
(溶融鉄合金およびスラグの表面張力測定研究)

* ()内のサブタイトルは仮題である。

報告資料 予価 500 円 (当日会場受付にて頒布いたします)

連絡先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階

日本鉄鋼協会技術部 (TEL 03-279-6021)

発表募集 特に議題 (3), (4), (5) については関連する研究発表を歓迎いたしますので、発表希望の方は 12 月末日までに発表原稿を上記までご送付下さい。報告資料として印刷します。

討 論 会 講 演 申 込 書

昭和 47 年度秋季 (第84回) 講演大会討論会

(太字の欄以外を明瞭にご記入下さい)

申込討論会 のテーマ 番号を○で囲 んで下さい	1. 高炉の羽口破損の機構について 2. 溶鋼の真空脱ガス—酸素と材質— 3. 鋼の低温焼もどしによる炭化物の析出とその他の影響 4. 鋼中の析出物および非金属介在物の態別定量 5. 熱間加工の温度、速度、加工度と組織 6. 鉄鋼の格子欠陥—マルテンサイトと格子欠陥—	受番 付日	講 演 号 討 一	勤 務 先 学 位 称 号 ローマ字 氏 名 (講演予定者○印)
和 文 題 目				
英 文 題 目				
連絡先 (勤務先所在地)				
				千 番 号 電 話 - -

注) 講演要旨は裏面にご記入下さい

